

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46

広報室 TEL : 0798-45-3533

持続可能な社会の実現に向けて、武庫川女子大学はソフトバンク株式会社と産学連携に関する協定を締結します。

武庫川女子大学はソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」）と産学連携協定を締結し、まずは、ふるさと納税返礼品の開発を軸とした地方創生事業を進めます。
本協定の締結식을 5 月 31 日（金）、武庫川女子大学で開催しますので、ご案内いたします。
概要は下記のとおりです。

産学連携協定について

武庫川女子大学は、ソフトバンクが発足させた全国の大学などと連携して社会課題の解決に取り組むコンソーシアム「ソフトバンク社会貢献プログラム 産学連携プロジェクト」に参画しています。3 月 28 日にソフトバンク本社で行われた記者会見には本学から瀬口和義学長らが参加しました。本協定は、持続可能な社会の実現に向けて、武庫川女子大学とソフトバンクが連携し、SDGs の推進、地方創生、地域社会の発展及び人材育成に寄与することが目的です。本協定の協力事項は以下のとおりです。

- （１） ICT 等を活用した次世代デジタル人材育成に関すること。
- （２） 次世代デジタル人材育成を通じて地域社会の持続可能な発展に関すること。
- （３） ICT 等を活用し地方創生・地域課題解決に向けた活動に関すること。
- （４） 女性活躍躍進に関すること。
- （５） 本協定に基づく情報発信の強化に関すること。
- （６） その他、本協定の趣旨・目的達成のため両者が協議して合意した事項に関すること。

以上の事項をもとに、まずは、ふるさと納税返礼品の開発を軸とした地方創生事業に連携と協力を行います。

協定締結式について

■日時 2024 年 5 月 31 日（金） 10 時～

■場所 武庫川女子大学中央図書館 2 階グローバルスタジオ（兵庫県西宮市池開町 6-46）

■出席者（敬称略）

【ソフトバンク株式会社】

コーポレート統括 CSR 本部 本部長 池田昌人

コーポレート統括 CSR 本部 地域 CSR 統括部

関東・中部・関西地域 CSR 部 部長 土居裕一

コーポレート統括 CSR 本部 地域 CSR 統括部

東海・関西・北陸地域 CSR 部 参与 西村智秀

法人統括 西日本営業本部 営業推進統括部 スマートキャンパス推進室
室長 貴堂純也

法人統括 西日本営業本部 営業推進統括部 スマートキャンパス推進室
スマートキャンパスディレクター 福原由美子

【武庫川女子大学】

学長 瀬口和義

副学長（社会連携担当） 郡千寿子

経営学部長 福井誠

経営学部経営学科長 西道実

経営学部助教 谷口浩二

事務局長 大野勝利

社会連携推進センター長 大坪明

ふるさと納税返礼品の開発を軸とした地方創生事業について

武庫川女子大学は「ソフトバンク社会貢献プログラム 産学連携プロジェクト」に参画し、このほど、ソフトバンクとの産学連携プロジェクト「ふるさと納税返礼品作成による地方創生事業」を下記の内容でスタートさせました。

（第 1 段階）ソフトバンク提供による講義 「AI の活用について」

（第 2 段階）三重県多気町などの役場担当者から特産品についての講義。

（第 3 段階）AI を活用し、地域の特産品に基づいたふるさと納税返礼品の原案を作成

（第 4 段階）フィールドワーク・原案をベースに地域の高校と返礼品内容をブラッシュアップし、最終製品原案を作成

(第5段階) 地元町長、商工会などに向け、製品提案

(第6段階) EC サイトで販売開始

このプロジェクトでは、政府が最重要戦略の一つとして掲げている「地域創生(地方創生)」事業について、産学官の連携を促進して地域社会の課題解決を目指します。学生たちはソフトバンクからサステナビリティや生成 AI の活用について学び、ふるさと納税返礼品に力を入れている三重県多気町などでフィールドワークを行って商品開発に取り組み、地元の自治体、高校、企業と連携して、返礼品の完成(製品化)を目指します。

4月24日には、プロジェクトの第1回目の授業となる「ソフトバンクのSDGs(地域貢献)」(SDGsにおいて高い評価を受けているソフトバンク社のSDGsの取り組み)、「生成AI活用入門」(ビジネスに活かせる生成AIスキルを学ぶ)が行われ、経営学部の学生らが、講師の西村智秀さん(ソフトバンク)の講義を受けました。

「ソフトバンク社のSDGs(地域貢献)」の講義では、西村さんは同社のSDGsの取り組みを解説した後、「持続的な社会の発展と企業の持続的な発展に努めていきたい。みなさんは、日本国内はもとより、世界各地で起きているさまざまな課題に目を向けて、ぜひ、自分たちができることを少しずつでいいので、SDGsに対しての取り組みを行っていただきたい」と学生に呼びかけました。

また、このプロジェクトを進めている経営学部の谷口浩二助教は「ソフトバンクからサステナビリティや生成AI利用のノウハウを教わり、ふるさと納税返礼品を市場性の高いものにブラッシュアップしたい。プロジェクトを通じて、地域を活性化できる人材の育成を目指したい」と話しています。

お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせ、取材のご連絡は、武庫川女子大学広報室までお願いいたします。

(電話) 0798-45-3533 (メール) kohos@mukogawa-u.ac.jp

なお、本件は「西宮市政記者クラブ」、「大阪科学・大学記者クラブ」の各加盟社に送付していますので、ご了承ください。

【写真】

①は3月28日にソフトバンク本社で行われた記者会見。瀬口和義学長（左から2人目）らが参加。②～⑥は、ソフトバンクとの産学連携プロジェクト「ふるさと納税返礼品作成による地方創生事業」の第1回目となる授業（4月24日）の様子。

①



②



③



④



⑤



⑥

